

令和8年度 小川北義務教育学校グランドデザイン

校 訓

力をつけよう 心をみがこう 気力をもとう

学校教育目標

温かい心で人と関わり 未来を切り拓く
たくましい児童生徒の育成

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

本市の教育目標

確かな学力と
たくましい体を持ち
郷土を愛する
こころ豊かな 人づくり

本市の教育理念

夢と希望を抱き
自らの明日を切り拓く
人づくり

学校経営の方針

児童生徒一人一人を大切にす る 魅力ある学校づくり

組織目標

『みんなが主役！一人一人が輝く学校づくり』

～ 自分でがんばる、みんなでがんばる ～

9年間で目指す児童生徒像と到達目標

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
【自己認識期・学びの基礎をつくる】				【自己育成期・学びを広げる】			【自己確立期・学びを深める】	
○進んでなかよく勉強する児童 1 学習のきまりを身に付ける。 2 学習習慣を身に付ける。 ○友だちにやさしくできる児童 1 生活のきまりを身に付ける。 2 友だちとなかよくする。 ○元気に楽しく運動する児童 1 外で元気に遊んだり、運動したりする。 2 健康で安全な生活をする。				○自ら考え学び合える児童生徒 1 自ら考え、ともに学び合う。 2 自主学習の習慣を身に付ける。 ○心やさしく助け合う児童生徒 1 自他のよさに気づき、認め合う。 2 みんなのために協力する。 ○健康で元気な児童生徒 1 粘り強く体力づくりをする。 2 自他の健康や安全を考え生活する。			○自ら学んで互いに高め合える生徒 1 学んだ力を発揮し、学びを深める。 2 主体的に課題を解決する。 ○心豊かで助け合える生徒 1 自己実現に向かって努力する。 2 よりよい人間関係を築く。 ○体をきたえやりぬく生徒 1 心身の健康を保持推進しようとする。 2 自分の生き方を真剣に考え、生活を向上させる。	

自己認識期 (1～4年)	自己育成期 (5～7年)	自己確立期 (8～9年)
夢をもつ自己認識期 自分や友達の良いところを見つけ、 交友を広げ助け合える児童	希望を掲げる自己育成期 積極的に地域と関わり、より よい生き方を考える児童生徒	大志を抱く自己確立期 未来を見据え、 自己確立を目指す生徒
夢や目標をもって、自ら学び続ける児童生徒 * 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり < 重点施策 > ○主体的・協働的に学ぶ授業の推進 ・「自分の考えを広げ、深めることのできる」児童生徒の育成 ・協働学習（学び合い活動）の充実 ・学習意欲を喚起する課題設定の工夫 ・小川北授業スタイルの共通実践と充実 ・家庭学習の習慣化 ○教科担任制の活用 ・前期課程からの段階的教科担任制の導入 ・専門性を生かした魅力ある授業の展開 ○ICTを効果的に活用した教育の推進 ・ICTを活用した個別最適な学び（AIドリルの活用）、協働的な学び（発表）の充実 ・思考を助ける手立てとなるICT活用 ・情報活用能力、情報モラルの醸成 ○系統的なキャリア教育の推進 ・児童生徒が主体となった学校行事の実施 ・キャリアパスポートの活用 ・外部人材を活用した体験活動 ○地域の人的・物的資源を活用した活動 ・学校支援ボランティアの積極的活用 ・農家や地域企業との連携	思いやりがあり互いのよさを認め合う児童生徒 * 思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合える学級・学年集団づくり < 重点施策 > ○基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上 ・元気に挨拶、返事ができる児童生徒の育成 ・いじめの未然防止と早期発見・早期対応 ○一人一人を大切にす る教育の推進 ・「考え、議論する道徳」の授業の実践 ・人権宣言の作成、人権フォーラムの実施 ・悩みや不安に寄り添う教育相談の充実 ・マナーアップ運動の展開 ・合意形成のための話し合い活動の工夫 ○自己肯定感、自己有用感の育成を図る特別活動の展開 ・一人一人が活躍できる場を多くする工夫 ・主体的な児童生徒会活動の展開 ・発達段階に応じた地域貢献活動（KSD） ○異学年交流を生かした人間関係づくり ・児童生徒会が企画・運営する縦割り班遊び ・前期課程の縦割り班清掃 ・9学年合同学校行事の実施 ○読書活動の推進 ・外部団体との連携と縦割り班の活用 ・前期課程における学校読書賞の実施	活力があり、心も体もたくましい児童生徒 * 健康で安全な生活を送るための生活習慣・運動習慣づくり < 重点施策 > ○体力向上に向けた取組（持久力、投力） ・体力アップ月間活動の推進 ・体育の授業における補強運動の継続 ○系統的な健康教育の実践 ・発達段階に応じた歯磨き指導 ・がん教育・薬物乱用防止教室の実施 ・性に関する指導・生きる教育講演会の実施 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣の確立 ・栄養教諭と連携した食育指導 ・感染症予防に関する自己管理能力の育成 ○自己管理能力の育成を目指した健康・安全教育の推進 ・危機予測・回避能力を育てる安全教育の実施（交通安全教室・防犯教室等の開催） ・SOSの出し方の指導 ・教育相談体制の確立と充実 ・情報モラル教室の開催 ○学校運営協議会、地域との連携 ・学校運営協議会との協働による地域行事 ・保護者や地域と連携した家庭教育力の向上 ・地域の人的・物的資源の開発と活用

< 数値目標 知 >	< 数値目標 徳 >	< 数値目標 体 >
○「授業が分かる」90% ○「授業が楽しい」85% ○「自分の思いや考えを伝えられる」75% ○「自学や宿題を自分から行っている」80%	○「学校が楽しい」90% ○「自分からあいさつができる」90% ○「自分によいところがある」85% ○「進んで読書をしている」75%	○体力テストA+Bの割合 58%以上 D+Eの割合 15%以下 ○「健康や安全に気を付けている」95% ○「進んで行事に参加している」88%

【特別支援教育の充実】 ○ユニバーサルデザインを基盤とした環境整備 ○特別支援教育C oを中心とした支援体制の構築 ○個別の指導計画と評価の活用 ○保護者、関係機関との連携	【開かれた学校づくりの推進】 ○学校だより、HPを活用した積極的な情報発信 ○学校運営協議会、PTA役員会・委員会との連携 ○保幼小接続カリキュラムの充実 ○学校評価の実施・公表・積極的な活用	【教職員の資質・能力の向上】 ○校内研修の充実とO J T研修の推進 ○外部機関との連携（訪問指導の活用） ○学校運営への積極的な参画（グループ・ブロック活動） ○教員評価、人事評価の効果的な活用
---	---	---

【服務規律の確保と学校事故の未然防止】 ○危機管理マニュアルの見直しと多様な避難訓練の実施 ○教職員の危機管理意識の高揚と事例研修会の充実 ○ボトムアップ型コンプライアンス研修による服務規律の徹底	【働き方改革に向けて】 ○働きがいがあり、子どもと向き合う時間を大切にできる職場づくり ○ワークライフバランスを大切にした働き方改革の推進 ～超過時間勤務 月45時間以内、週2日の個人による定時退勤日～
--	---